

新型コロナウイルスによる中止の可能性と、対応について

今回の大会の開催又は中止の判断が行われるまで、今回の大会への参加費・ゼッケン代・広告費は、振り込まないご対応をお願い致します。

開催が決定いたしましたら、改めてご案内を差し上げますので、その際は、大会開催日までに、お振込をお願い致します。

兵庫県空手道連盟 会員各位

2020年3月25日
兵庫県空手道連盟
会長 齋藤 富雄

令和2年度第53回兵庫県空手道選手権大会 実施要項
(第74回兵庫県民体育大会) (第28回全国・第30回近畿中学生空手道大会予選)
(日本スポーツマスターズ2020予選) (第75回国体・第48回全日本大会各一次予選)

1. 主催： 兵庫県空手道連盟
2. 後援： 兵庫県教育委員会・兵庫県体育協会・神戸新聞社・デイリースポーツ社・サンテレビジョン
3. 日時： 2020年5月24日(日) 午前9時より(午前8時45分開場予定)
4. 場所： ウィンク武道館(兵庫県立武道館) 〒670-0971 姫路市延末504
電話 0792-92-8210 電車:山陽電鉄手柄駅下車南東徒歩20分
※ 異常気象等より大会開催に係る不測の事態が予測される場合は、兵庫県空手道連盟ホームページ(<http://hyokuren.jp>)に掲載いたします。
5. 種目 ※下記に記載の各大会への参加最終決定は、各大会要項が未着の為、到着後となる。

【 中学生 】

男子形競技		女子形競技		男子組手競技		女子組手競技	
17	中学生	27	中学生	37	中学生	47	中学生
18	中学生団体	28	中学生団体	38	中学生団体	48	中学生団体

- 第28回全国中学生空手道選手権大会の予選会とします。
※ 個人上位2名、団体上位2チームに、全国大会出場資格を与える。
※ 全中大会参加には全空連公認段位または、公認級位の取得が必要です。
- 第30回近畿中学校空手道選手権大会の予選会とします。
※ 個人上位16名、団体上位8チームに、近畿大会出場資格を与える。
※ 但し、第27回全国中学生空手道選手権大会個人競技BEST8、第14回彩の国杯優勝選手、令和2年度ジュニア強化選手は出場権を保有(全中)、及び連盟推薦(近中)を致しますので、本大会へのエントリーは、控えてください。(※当該種目以外は出場可とする。)

【 マスターズ 】

男子形競技		女子形競技		男子組手競技		女子組手競技	
61	男子(40～49歳)	71	女子(35～44歳)	81	男子(40～44歳)	91	女子(35～39歳)
62	男子(50～59歳)	72	女子(45～54歳)	82	男子(45～49歳)	92	女子(40～44歳)
63	男子(60～69歳)	73	女子(55歳以上)	83	男子(50～54歳)	93	女子(45～49歳)
64	男子(70歳以上)			84	男子(55～59歳)	94	女子(50～54歳)
				85	男子(60～64歳)	95	女子(55歳以上)
				86	男子(65～69歳)		
				87	男子(70歳以上)		

- 日本スポーツマスターズ2020の予選会とします。
※ 各種目上位1名に出場権が与えられる。
* 出場数の多い競技の中で、数種目は2名になることがある。
※ マスターズ種目の年齢計算は、2020年4月1日を基準とする。
※ 日本スポーツマスターズ2020出場には、全空連公認段位の取得が必要です。

【 高校生 】	男子形競技	女子形競技	男子組手競技	女子組手競技
19 高校生	29 高校生	39 高校生	49 高校生	

- 第75回国民体育大会、第48回全日本大会の一次予選会とします。
 ※ 令和2年度の国体・全日本選手選考会参加には、今大会へのエントリーが必要です。
 ※ 近畿大会・国体・全日本出場には、全空連公認段位の取得が必要です。

【 一般 】	男子形競技	女子形競技	男子組手競技	女子組手競技
51 成年	52 成年	53 成年軽量級	56 成年	
		54 成年中量級		
		55 成年重量級		

- 第75回国民体育大会、第48回全日本大会の一次予選会とします。
 ※ 成年形種目については、第75回国民体育大会近畿ブロック大会の予選会とします。
 ※ 成年組手種目については、今大会上位4名に近畿大会出場選考会への出場資格を与える。(強化部会よりの推薦者を含む)
 ※ 令和2年度の国体・全日本選手選考会参加には、今大会へのエントリーが必要です。
 ※ 近畿大会・国体・全日本出場には、全空連公認段位の取得が必要です。

6. 競技規定： 競技は、「全日本空手道連盟空手競技規定」・「大会申合せ事項」に基づき行う。
7. 参加資格： ○ 選手は、『会員情報登録書 兼 会員順守事項承諾書』を提出していること。
 ○ 兵庫県内に在住又は在校・在勤の者で、兵庫県内の道場生であること。但し、中学生は、兵庫県内中学校の在校生に限る。
 但し、国体ふるさと対象選手はこの限りではない。
 ○ 選手は兵庫県空手道連盟・全日本空手道連盟の両会員登録者に限る。
 ○ 選手は各道場でスポーツ安全保険をかけていること。
8. 表彰： 各種目とも、決勝トーナメント戦進出者に賞状、成績上位者にトロフィーを授与する。
 (出場人数の少ない種目についてはこの限りでない。)
9. 参加費： 1種目 個人 2,000円 団体 3,000円
 ○ 開催が決定いたしましたら、改めてご案内を差し上げますので、その際は、大会開催日までに、お振込をお願い致します。
10. 申込先： 出場選手一覧表は下記へ送付してください。(FAX・E-Mail可)

〒651-0056 神戸市中央区熊内町5-9-19 KIC内 兵庫県空手道連盟 事務局 宛 FAX:078-242-0701 E-Mail:info@hyokuren.jp
--

11. 申込・参加内容確認・ゼッケン番号通知までの予定
- ① 申込書受付期間 2020年3月25日～4月10日(必着)
 ↓ ※ 兵空連・全空連の会員登録のない者(申込と同時に登録可)、『会員情報登録書 兼 会員順守事項承諾書』の提出がない者は、受け付け出来ません。注意してください。
- ② 申込内容確認書発送 2020年4月13日頃(事務局発送日) [一部、HP掲載]
 ↓ ※ 事務局より、各評議員へ、発送します。到着次第、内容をご確認ください。
- ③ 申込内容確認期間 2020年4月14日頃～4月22日(締切厳守)
 ↓ ※ 申込内容訂正時は、速やかに事務局へ連絡をお願いします。(以後訂正不可。)
- ④ 抽 選 2020年4月24日(事務局にて)
 ↓ ※ 事務局にて、競技部会長立会いのもと、抽選を行います。
- ⑤ ゼッケン通知発送 2020年5月8日(事務局発送日) [一部、HP掲載]
 ↓ ※ 事務局より、各評議員へ、発送します。到着次第、選手にお伝えください。
- ⑥ 進行表・トーナメント発表 2020年5月12日(HP掲載予定日) [HP掲載]
 ↓ ※ 大会当日の進行表(競技予定)・トーナメントを、HPに掲載します。
- ⑦ 大会結果発表 2020年5月26日(HP掲載予定日) [HP掲載]
 ※ 大会入賞者、学校名を、HPに掲載します。

12. 連絡徹底事項:

- 下記の内容について、評議員は選手並びに保護者に連絡し徹底をお願いします。
 - ① 締切厳守と、内容確認の徹底
申込内容の訂正期間が過ぎましたら、プログラム変更は一切できません。必ず、内容確認の徹底と、締切の厳守をお願い致します。締切後の参加費の返金もできません。
 - ② 「ゼッケン」は、『申合せ事項』及び『大会用ゼッケンの制作方法』に従い、正しく制作・縫付を行ってください。
 - ゼッケンは、縫う場所・縫い目の個数の指定があります。必ず指定通りに、しっかり縫ってください。縫い方が不適切な場合は、選手集合場所で指摘され、改善が出来ない場合は競技に参加できなくなることがあります。
 - ③ 安全具・・・申合せ事項に記載の公認安全具を各個人で準備し、必ず着用すること。
 - ④ 服装・・・大会申合せ事項による道着・帯等を必ず使用すること。
 - ⑤ 頭髪等(学生年齢層について適用)
 - 男子は、スポーツマンらしい頭髪にし、長くても「まゆげ」にかからず、「耳」が見え、「襟足」が見えるように整髪する。
 - パーマ、リーゼント、ソリ、ひげ、染色、脱色等を禁止する。
 - 女子は、ヘアピン等の危険物の使用およびリボン、鉢巻の使用を禁止する。
 - ⑥ 欠席の報告・・・大会当日に欠席の場合は、開会式の前に評議員・指導者又は、関係者が本部席に必ず連絡してください。
 - ⑦ 選手集合
 - 選手集合時に不在であれば競技に参加できませんので、競技進行状況に注意願います。
 - 競技開始30分前に選手集合場所にくること。
 - 競技場で名前を呼ばれた時点で居ない選手は、棄権となります。
 - ⑧ 会場での危険事項・禁止事項の徹底
 - 会場入場時の整列入場を、徹底してください。
 - 会場に会旗、応援旗等の設置を禁止します。
 - 土足での歩行禁止エリアの徹底をしてください。
 - 喫煙所以外での喫煙の禁止を徹底をしてください。
 - ゴミ等の持ち帰りの徹底をしてください。
 - 大会会場(競技コートフロア)へは、指定したもの以外の立ち入りを禁じます。
 - ⑨ 競技の判定について
選手・保護者による、競技時の審判判定に対するクレーム、撮影のビデオ映像を持ち込んでのクレーム・抗議は、一切受け付けません。これらは、評議員を通じて行ってください。
但し、抗議は、審判員の服装を整えた評議員のみとし、その評議員の属する会員に限り認めます。
 - ⑩ 大会会場では応急手当のみの対応
搬送を含め医師等の治療費については、初診料より選手の本人負担となりますので健康保険証を持参するよう徹底してください。
 - ⑪ 当大会では、競技参加選手に限り、傷害保険を付与しています。
 - ⑫ 近畿・全国大会等の予選大会へは、他の都道府県との二重参加は認めない。これに反した場合は、失格とする。

令和2年度第53回兵庫県空手道選手権大会 申合せ事項
(第74回兵庫県民体育大会) (第28回全国・第30回近畿中学生空手道大会予選)
(日本スポーツマスターズ2020予選) (第75回国体・第48回全日本大会各一次予選)

<共通事項>

- ☆ ルールについて
 - (公財)全日本空手道連盟空手競技規定で実施する。但し、一部は本申合せにて実施する。
- ☆ 道着、及び胸・袖マーク隠しについて
 - メーカーの指定はありません。白無地とする。
 - 上着胸ヒモの禁止。(ヒモは、外すか、裏側に見えないようにしっかり止めてください。)
 - 上着腰ヒモの着用必須。
 - 帯留めゴム・ヒモの使用禁止。
 - 胸・袖マーク等は、白布で4辺をしっかりと縫って隠す事。
- ☆ 帯、背番号(ゼッケン)について
 - 中学生は、白帯を着用。会派の名前が刺繍された帯は使用禁止。赤・青については、県連で準備する紐を使用する。
 - 高校生以上は各自で赤・青帯を準備する。開会式にはどちらの帯で参加してもよい。
 - ゼッケンは、縫う場所を指定する。指定する縫い目は、4辺隅4か所と、上下の辺に3点、左右の辺に2点の計14点カ所とし、しっかりと縫い付ける事とする。(※別紙、『大会用ゼッケンの制作方法』参照。)
 - ※ ゼッケンの「縫い付け確認」を、招集場で招集時に行う。縫い方が、正しくない場合は、縫い足す等で本人又は保護者が行えるが、入場までに対応できない場合は出場できないことがあります。
 - ※ 上記の確認後、一旦競技会場に入場を許可された選手のゼッケンが、競技中に外れる等の場合でも、ペナルティを一切課さない。
- ☆ 組手競技は各種目、3位決定戦を行う。

1. 中学生

- ☆ 形競技
 - [兵庫方式]形競技申合せ事項により行う。
- ☆ 組手競技
 - 安全具については、別紙<安全具について>で指定された安全具を必ず着用する事。
 - 競技時間 1分30秒フルタイム。
 - 勝敗 6ポイント差で勝ちとします。
- ☆ 団体競技
 - 競技は申合せ事項により行う。
 - 組手競技は、勝敗が決した時点で終了する。
 - 競技は、学校対抗とし、複数学校からなる学校混成チームは認めない。
 - チームは、同一学校であれば、複数評議員の選手による編成を認める。
 - 同一学校からの複数チームの出場を認める。但し、全国中学生空手道選手権大会への出場は、1校1チームの規程により、上位1チームのみの参加を認める。
 - 同一又は複数の評議員からの、同一学校からの複数チームの出場を認める。
 - 1チーム3名とする。但し、補欠2名までを認め、登録は5名まで可とする。

2. マスターズ

☆ 形競技

- [兵庫方式]形競技申合せ事項により行う。

☆ 組手競技

- 安全具については、別紙<安全具について>で指定された安全具を必ず着用する事。
- 競技時間 2分間フルタイム。
- 勝敗 6ポイント差で勝ちとします。

3. 高校生(少年)

☆ 形競技

- [兵庫方式]形競技申合せ事項により行う。

☆ 組手競技

- 安全具については、別紙<安全具について>で指定された安全具を必ず着用する事。
- 競技時間 1分30秒フルタイム。
- 勝敗 6ポイント差で勝ちとします。

4. 一般/成年(※高校生の年齢の者は一般/成年には参加できない。)

☆ 形競技

- [兵庫方式]形競技申合せ事項により行う。
- 一般/成年は、決勝ラウンドのみ1人ずつ演武する。

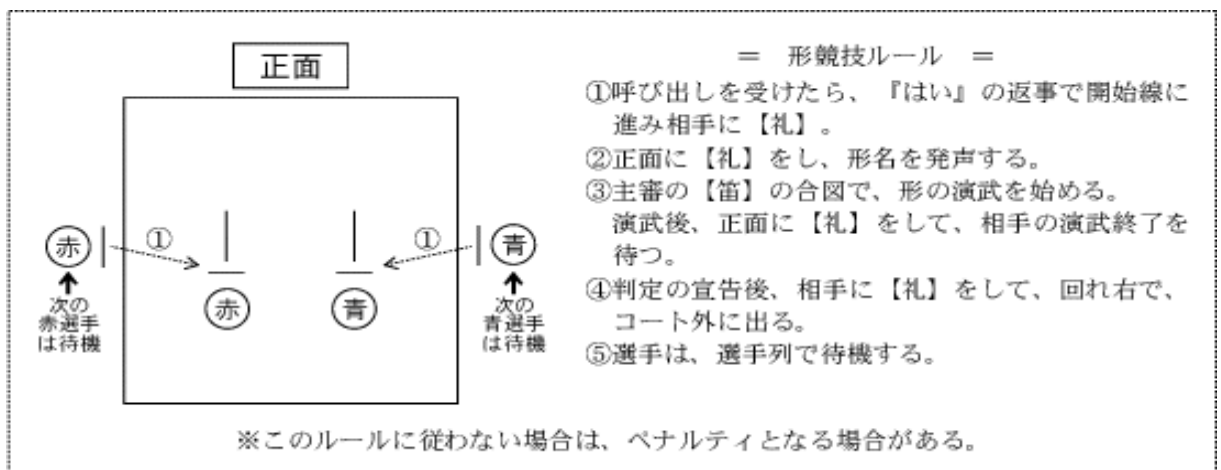
☆ 組手競技

- 男子で、計量時における重量不適格者は出場できない。
(計量時間: 午前9時~11時)
(軽量級/65kgに満たない体重・中量級/65kgから75kgまで・重量級/75kgを超える体重)
- 安全具については、下記<安全具について>で指定された安全具を必ず着用する事。
- 競技時間 2分間フルタイム。
- 勝敗 8ポイント差で勝ちとします。

5. その他

☆ 形競技

- 競技開始は主審が笛を吹く。点数表示の指示は、主審が着席したまま行う。



☆ 組手競技

- 15セコンドルール・10カウントルールは適用する。
- <安全具について>の表に記載の公認外の安全具の使用は認めない。

☆ 注意

- 組手競技で主・副審をする場合、自分の関係道場の選手が出場したときは、挙手してコート長に申し出て、主・副審を辞退してください。

<安全具について>

種目 分類	メンバー	拳サポーター (白は、使用禁止)	シンガード及び インステップガード	ボディー プロテクター
小学生	全空連 公認	赤青リバーシブル 及び 赤青グローブ式	全空連・高体連 公認(白色)	全空連公認
中学生		赤青グローブ式		高体連公認 (白色)
高校生			高体連公認	
一般			全空連・WKF 公認 (赤青色)	
マスターズ				

- ※ 一般・マスターズでは、シンガード・インステップガードを、全空連・WKF公認赤青色とする。
- ※ 男子は、セーフティカップを使用する事。(※但し、小学1・2年生は、親の同意で不着用可とする。)
- ※ 但し、上位大会(近畿大会・全国大会等)に於いては、その大会要項・規定を順守すること。
- ※ 上記の安全具を準備していない選手は競技に参加できない。
- ※ ボディープロテクターは、内側に着用する事。

<シードについて>

- ☆ 今大会での各競技上位者4名を、次大会のシード選手とする。
- 但し、今大会において、全国大会の出場権を保有し、エントリーを控えた選手は、次大会でシード権1位(複数の場合は、順次付与)を与え、上記競技上位者のシード順位を繰り下げ付与する。
- また、次大会において、全国大会の出場権を保有し、エントリーを控える選手が出た場合は、上記競技上位者のシード順位を繰り上げ、4名まで付与する。
- 組手競技で3位・5位決定戦がなかった場合は、優勝者の敗者を3位・5位とする。(6位以下同様。)
- ※ 今大会でシードとなった選手で、次大会において評議員の変更が行われていた場合、そのシード権を失う。但し、次大会申込と同時に、前評議員・新評議員の署名捺印のある変更申請書の提出があった場合は、シードを認めるものとする。(※変更申請書の書式は、事務局に問合せを行う事。)
- ※ シードを失うもの等が出た場合でも、シード権の追加(下位選手の繰上)は、行わない。

令和2年度第53回兵庫県空手道選手権大会 [兵庫方式]形競技申合せ事項
 (第74回兵庫県民体育大会) (第28回全国・第30回近畿中学生空手道大会予選)
 (日本スポーツマスターズ2020予選) (第75回国体・第48回全日本大会各一次予選)

1. ラウンドと、演武方法について

☆ ラウンド

○ 競技形は、全競技、1次・2次・決勝の3ラウンド方式とする。

☆ 演武方法 ※ 団体戦については、「名」を「団体」と読み換える。

○ 各ラウンドで、背番号の小さい者から順に2名同時に、1度のみ演武する。

○ 2名は、赤・青の紐を着用(紐は、兵空連で準備する。)し、背番号の小さい者を赤とする。

○ 各ラウンドで演武できる形は、以下とする。

① 1次ラウンド 全空連第一指定形

② 2次ラウンド 全空連第二指定形

③ 決勝ラウンド 1次・2次ラウンドで演武した形を除く指定形及び得意形とする。

※ 第1、2指定形及び得意形は、空手道競技規定(JKF)の「付録17:指定形リスト」並びに「付録18:得意形リスト」から選択しなければならない。

※ 棄権他の理由で選手が参加しない場合でも、演武の順序は、繰り上げない。

※ 出場者が4名以下の場合、1回戦を決勝ラウンドとする。

※ 出場者が5名以上8名以下の場合、1コートで競技を行い、1回戦を2次ラウンドとし、2回戦を決勝ラウンドとする。

※ 出場者が33名以上64名以下の場合、4コートで競技を行い、1次ラウンドから決勝ラウンドまでの3ラウンドとする。

※ 出場者が65名以上の場合、8コートで競技を行い、1次ラウンドから決勝ラウンドまでの3ラウンドとする。

2. 審判員及び、採点の流れ・得点の計算方法について

☆ 審判員

○ 審判員は、兵庫県空手道連盟の県形審判資格保持者以上の者が、5名で行う。

○ 審判員は、主審(第1副審)から、第5副審の5名とする。

※ 但し、有効期限が過ぎた、県資格者で、1年未満の審判員の参加はこれを認める。

☆ 採点の流れ

○ 採点は、審判員の採点板に得点を赤・青同時に表示し、主審の指示でそれを掲げて表示する。

○ 掲げられた得点を、主審の赤の得点から、順次記録係①が読み上げ、それを記録係②③が指定の用紙に記録する。

○ 全選手の演武が終了したら、記録係①は、主審の確認を得た後、予選ラウンドでは、上位ラウンド進出者、決勝ラウンドでは結果の順位を発表する。

☆ 得点の計算方法

○ 得点の計算方法は、5名の採点の内、最高・最低の2名の採点を削除し、残りの3名の採点の合計にて順位を確定する。

○ 同点の場合は、削除されなかった最高点、削除されなかった最低点、削除された最高点、削除された最低点の順に比較し、その高い点数者を、上位者と決め決定する。

○ 上記でも、同点の場合は、再演武にて決定する。

3. 採点の評価基準及び、得点方法について

☆ 採点の評価基準

○ 技術面を7割、競技面を3割として評価し、合計で採点する。

※ 技術面の評価ポイントは、下記の7項目とする。

* 立ち方、技、流れるような動き、同時性、正確な呼吸法、極め、一致制:流派の形の基本に一貫性があるか。

※ 競技面の評価ポイントは、下記の3項目とする。

* 力強さ、スピード、バランス。

☆ 得点方法

○ 棄権・反則等の得点は、0.0とする。

○ 得点の評価での最低点を、5.0とする。

○ 得点の評価での最高点を、10.0とする。

○ 得点は、0.2毎に増減する。